

第2章 芳賀・宇都宮東部地域における交通の現状と課題

2-1 芳賀・宇都宮東部地域における交通の現状

(1) 宇都宮市・芳賀町の交通の現状

① 道路

宇都宮市の道路ネットワークは、都心部を囲む「都心環状線」，「内環状線」，「宇都宮環状線」の3つの環状道路と，都心部から郊外に延びる12の放射道路で形成されています。

芳賀町においては東西2路線，南北1路線の地域の軸となる道路が整備されています。



図 2-1 宇都宮市の3環状12放射道路



図 2-2 芳賀町の幹線道路

② 鉄道

鉄道交通網は，JR宇都宮駅から東京・東北方面に宇都宮線（東北本線）と東北新幹線，日光方面に日光線が延び，東武宇都宮駅からは東武宇都宮線が東京方面へ延びています。

③ バス

宇都宮市内をバス事業者3社が，芳賀町内を2社が運行しています。

JR宇都宮駅を中心に路線バスが放射状に伸びており，JR宇都宮駅の西側は大通り等にバス路線が充実している一方で，宇都宮市の郊外部や芳賀町ではバス路線の空白地域が存在しています。

JR宇都宮駅の東側では，駅から芳賀町，真岡市，益子町，茂木町方面へのバスが運行されており，また清原，芳賀，芳賀・高根沢工業団地の企業や郊外の大学などでは，JR宇都宮駅などから通勤・通学バスを運行しています。

【鉄道とバス路線網】

鉄道は南北方向に J R 宇都宮線と東北新幹線，東武宇都宮線が伸びており，バス路線は J R 宇都宮駅を中心に放射状に伸びています。

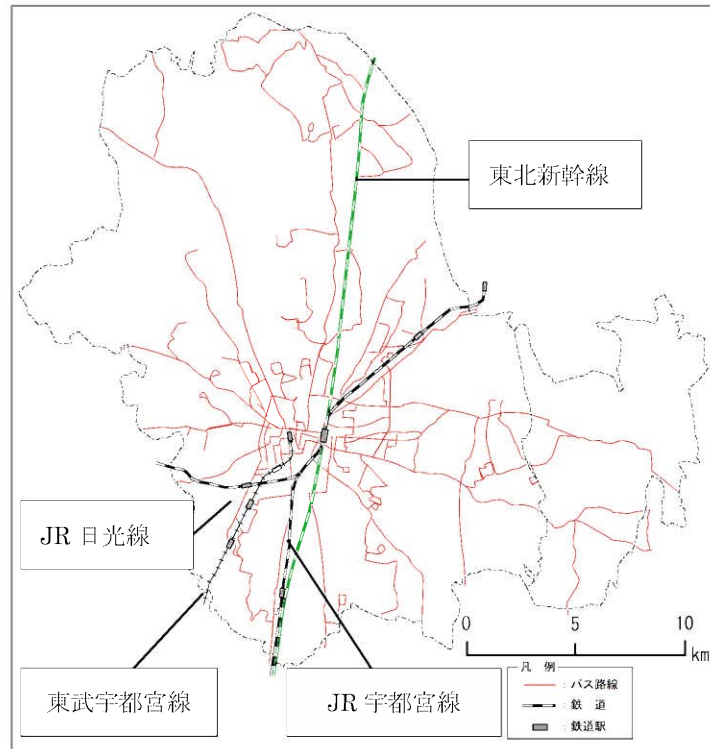
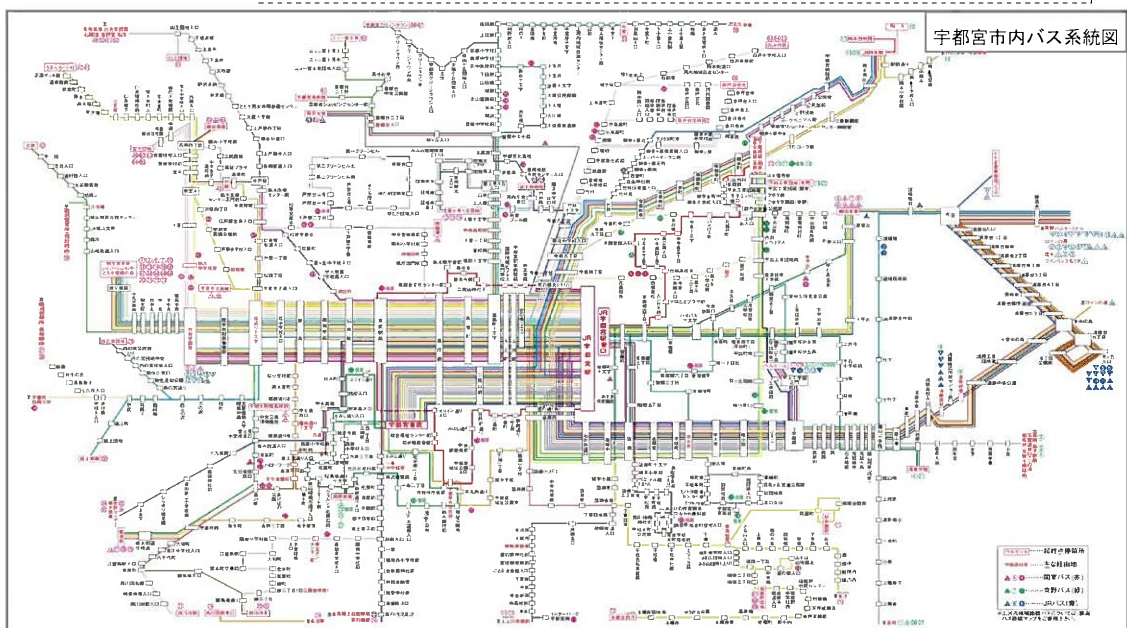


図 2-3 鉄道とバス路線網

【バス系統】

J R 宇都宮駅の西側は大通り等にバス路線が集中する一方で，郊外部ではバス路線の空白地域が存在しています。



資料：宇都宮市バス路線マップ，芳賀町資料（2012年）

図 2-4 宇都宮市内のバス系統図

【芳賀・宇都宮東部地域におけるバス路線等の現状】

J R宇都宮駅東側のバス路線については、真岡・益子方面などの広域バス路線が集中する国道123号線が最も運行頻度が高く（10分に1本以上）、白楊高通りについても一定の本数（30分に1本以上）が運行されています。

利用状況については、J R宇都宮駅では、駅東口で一定の乗降（約1,500人/日）がありますが、駅東側のバス路線においても、駅西口や大通り周辺など駅以西での乗降が多い（5,000人超/日）状況となっており、J R宇都宮駅を除いては、国道123号線沿いを中心にベルモール周辺や白楊高通りで乗降客数が多い状況となっています。

また、清原、芳賀、芳賀・高根沢工業団地の企業通勤バスは、J R宇都宮駅東口から運行しており、利用者数は約3,700人/日であり、清原地区に立地している大学の通学バスは、J R宇都宮駅西口から運行しており、利用者数は約500人/日となっています。

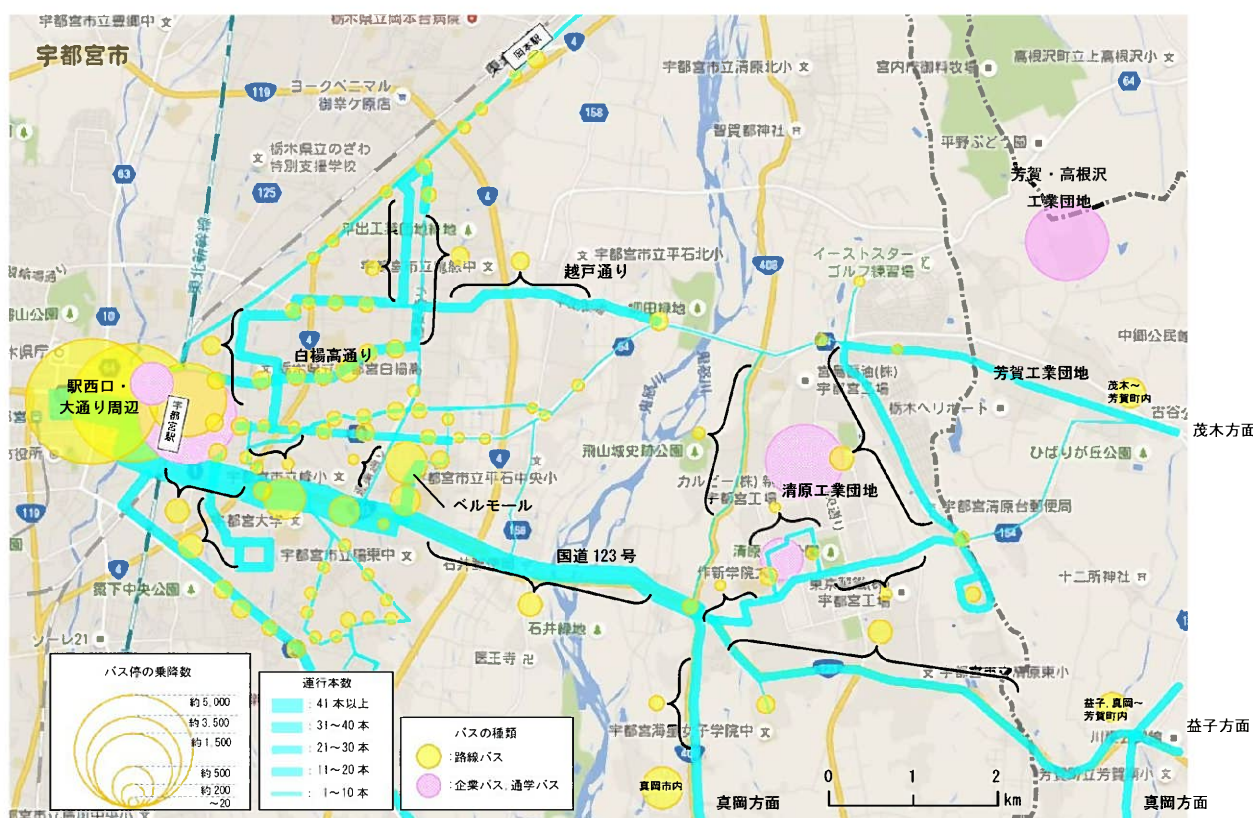


図 2-5 芳賀・宇都宮東部地域におけるバス路線等の現状

(参考) 計画区域内のバス路線一覧

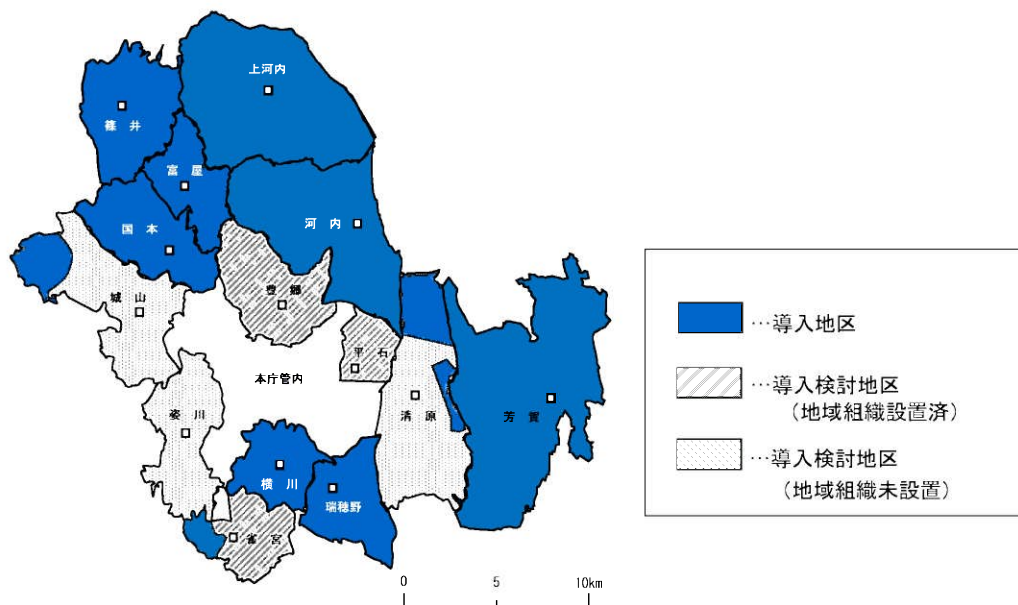
平成27年10月1日現在

No.	事業者名	起点	経由地	終点	運行本数				備考	
					平日	休日	往路	復路		
1	関東自動車	宇都宮駅	白檜高校・越戸	柳田車庫	2	4	0	1		
2		駒生営業所	宇都宮駅東口・産業技術大学・中平出	柳田車庫	0	1	0	0		
3		駒生営業所	宇都宮駅・白檜高校・越戸	柳田車庫	15	13	26	25		
4		宇都宮駅東口	産業技術大学・中平出	柳田車庫	6	4	2	2	県単補助	
5		宇都宮駅東口	新道・ベルモール・下平出	柳田車庫	5	6	2	2	県単補助	
6		宇都宮駅	さるやま団地入口	瑞穂野団地	5	0	2	2		
7		駒生営業所	宇都宮駅・さるやま団地入口	瑞穂野団地	11	11	5	4		
8		駒生営業所	宇都宮駅・さるやま団地入口・緑の郷	聖徳野団地	12	9	8	9		
9		駒生営業所	宇都宮駅・下桑島	東汗	4	4	3	3		
10		駒生営業所	宇都宮駅	卸会館前	1	1	0	0		
11		駒生営業所	宇都宮駅・さるやま団地入口・瑞穂野団地	本郷台西汗	6	6	5	5	国庫補助	
12		宇都宮駅東口	宇大工学部・隣東桜が丘・ベルモール	宇都宮駅東口(循環)	9	9	9	9		
13		宇都宮駅東口	東宿郷・今泉町・隣東桜が丘	ベルモール	23	25	26	26		
14		宇都宮駅東口	城東・平松本町団地	宇都宮駅東口(循環)	33	0	13	0		
15		宇都宮駅東口	新道・下平出	柳田車庫	2	2	0	0	県単補助	
16		駒生営業所	健康の森・宇都宮駅・越戸	松下屯器前	1	1	0	0		
17		駒生営業所	健康の森・宇都宮駅・越戸	柳田車庫	15	12	0	0		
18		駒生営業所	健康の森・宇都宮駅・中平出	柳田車庫	0	1	0	0		
19		駒生営業所	健康の森・宇都宮駅・瑞穂野団地	本郷台西汗	0	2	0	0		
20		駒生営業所	健康の森・宇都宮駅・緑の郷	瑞穂野団地	0	3	0	0		
21		作新学院前	宇都宮駅・越戸	柳田車庫	0	1	0	0		
22		駒生営業所	宇都宮駅・越戸	松下屯器前	4	3	1	1		
23	東野交通	宇都宮東武	宇大前・鐘山・亀山	真岡	1	1	1	0		
24		宇都宮東武	宇大前・鐘山・橋場・中島	真岡	8	9	6	4	国庫補助	
25		宇都宮東武	宇大前・鐘山・橋場・七井	蒼子駅前	15	16	10	11	国庫補助	
26		西原車庫	ベルモール・宇大前・鐘山・井頭一万人プール	真岡	0	0	0	0	夏季のみ	
27		宇都宮東武	宇大前・鐘山	海星学院	7	8	2	1		
28		宇都宮東武	宇大前	ベルモール前	1	2	2	2		
29		宇都宮東武	宇大前・鐘山	沼袋高校	1	1	0	0		
30		宇都宮東武	宇大前・鐘山・清陵高校・作新大学	清原球場	3	3	2	2		
31		宇都宮東武	宇大前・峰小	御幸交番前(旧松下)	1	0	0	0		
32		宇都宮東武	宇大前・ベルモール	御幸交番前(旧松下)	5	4	1	0	県単補助	
33		宇都宮東武	宇大前・峰小・御幸交番前(旧松下)・東町・竹林	2	1	0	1	県単補助		
34		宇都宮東武	JR宇都宮駅・JR岡本駅・JR宝積寺駅	JR氏家駅	2	2	2	2	国庫補助	
35		宇都宮東武	JR宇都宮駅・竹林・上野団地	JR岡本駅	9	7	4	3	国庫補助	
36		宇都宮東武	JR宇都宮駅・今泉九丁目・松下	和久	8	8	5	5	国庫補助	
37		宇都宮東武	JR宇都宮駅・竹林	河本台病院	6	6	4	3	県単補助	
38		宇都宮東武	JR宇都宮駅・竹林	平出工業団地	17	16	0	3		
39		宇都宮東武	北越戸	御幸交番前(旧松下)	6	4	1	1	県単補助	
40		宇都宮東武	御幸ヶ原元町	JR岡本駅	14	15	7	7	国庫補助	
41		宇都宮東武	鐘山	海星学院	1	0	0	0	県単補助	
42		宇都宮東武	宇都宮市体育館・宇都宮市東図書館	平出工業団地	32	32	14	14		
43		西原車庫	宇都宮東武・JR宇都宮駅・宇大前	ベルモール前	7	7	11	12		
44		西原車庫	ベルモール・宇大前・鐘山・石法寺	真岡	17	14	11	11		
45		西原車庫	宇大前・鐘山・石法寺	真岡	3	4	1	3		
46		宇都宮東武	芳賀日赤・石法寺	真岡	4	5	3	3	県単補助	
47		宇都宮東武	ベルモール・鐘山	海星学院	12	13	11	12		
48		宇都宮東武	ベルモール・北越戸	宇都宮東口(循環)	0	0	3	3		
49		宇都宮東武	隣東三丁目	御幸交番前(旧松下)	8	6	0	0		
50		宇都宮東武	隣東三丁目・ベルモール	JR岡本駅	0	0	4	4		
51		宇都宮東武	隣東三丁目	JR岡本駅	4	4	0	0		
52		宇都宮東武	白沢街道・御幸ヶ原元町・上野団地	河内生涯学習センター	4	4	5	5		
53		西原車庫	市役所・東峰町・市役所	西原車庫	5	-	5	-		
54		西原車庫	花園町・平松町・花園町	西原車庫	7	-	8	-		
55		西原車庫	花園町・東高校・花園町	西原車庫	2	-	0	-		
56		ジェイアールバス関東	宇都宮駅	茂木町	ツインリンク茂木	0	0	0	0	特定日運行
57			作新学院前	道場宿	茂木	1	1	1	1	国庫補助
58	作新学院前		道場宿・市貝小	茂木	2	2	2	2		
59	作新学院前		ベルモール・清陵高校入口・光ヶ丘入口・芳賀バスターミナル	ロマンの湯	1	0	0	1		
60	東武駅前		ベルモール・清陵高校入口・光ヶ丘入口・芳賀バスターミナル	ロマンの湯	4	5	5	4		
61	作新学院前		清陵高校入口・光ヶ丘入口・芳賀バスターミナル	ロマンの湯	3	3	3	0		
62	東武駅前		清陵高校入口・光ヶ丘入口・芳賀バスターミナル	ロマンの湯	3	0	1	1		
63	宇都宮駅		清陵高校・光ヶ丘入口	芳賀バスターミナル	1	0	1	4		
64	作新学院前		清陵高校入口・光ヶ丘入口	芳賀バスターミナル	1	1	0	1		
65	宇都宮駅		清陵高校・光ヶ丘入口	とちぎ産業創造プラザ	1	1	0	0		
66	東武駅前		宇大前	ベルモール	6	4	0	0		
67	作新学院前		宇大前	ベルモール	2	4	0	0		
68	作新学院前		ベルモール・光ヶ丘入口	芳賀バスターミナル	2	0	3	0		
69	東武駅前		清陵高校入口・光ヶ丘入口	芳賀バスターミナル	1	0	1	0		
70	作新学院前		清陵高校・光ヶ丘入口	芳賀バスターミナル	2	0	1	0		
71	ロマンの湯		光ヶ丘入口・刈沼・柳田車庫	宇都宮駅東口	0	1	0	0		
72	ロマンの湯		光ヶ丘入口・清陵高校入口・宇大前	宇都宮駅東口	0	1	0	0		
73	芳賀バスターミナル		刈沼・柳田車庫・宇都宮駅東口	作新学院前	0	1	0	0		
74	ロマンの湯		芳賀バスターミナル・光ヶ丘入口・清陵高校	東武駅前	0	0	1	0		
75	芳賀バスターミナル		光ヶ丘入口・清陵高校	東武駅前	0	3	3	0		
76	とちぎ産業創造プラザ		光ヶ丘入口・清陵高校	東武駅前	1	0	0	0		
77	芳賀バスターミナル		市貝小	茂木	2	0	0	0		
78	芳賀バスターミナル		小貝口	茂木	0	2	0	0		
79	東武駅前		清陵高校・光ヶ丘入口	芳賀バスターミナル	0	2	0	0		
80	東武駅前		清陵高校・光ヶ丘入口・芳賀バスターミナル	ロマンの湯	0	1	0	0		

④ 地域内交通（宇都宮市）・デマンド交通（芳賀町）

宇都宮市の郊外部や芳賀町における公共交通空白地域解消のため、タクシー車両を活用したデマンド交通等の導入を進めています。

宇都宮市では郊外部13地区のうち10地区において、地域が運営主体となって定時定路型1路線、デマンド型10路線の地域内交通が運行しており、芳賀町では町が主体となって芳賀町内等を運行エリアとしたデマンド交通が運行しています。



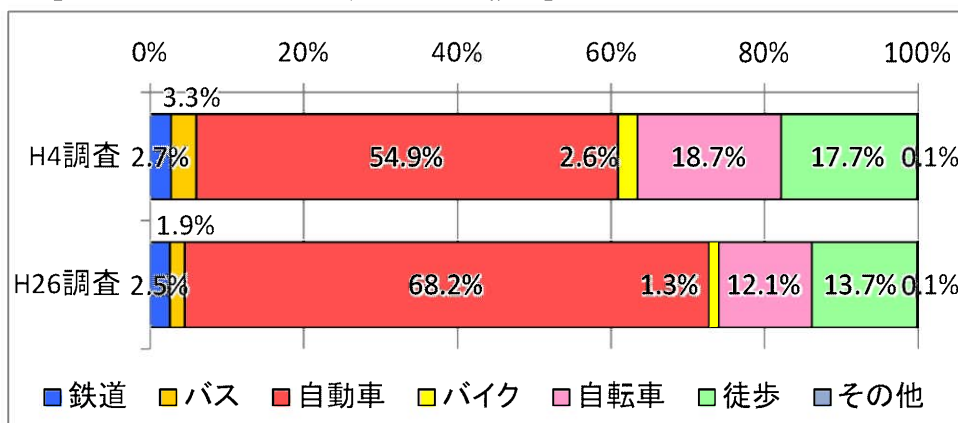
⑤ 利用交通手段

利用している代表交通手段を見ると、自動車利用が平成4年の54.9%が平成26年には68.2%と13.4ポイント上昇しており、自動車への依存がさらに強くなっています。

人口当たりの自家用乗用車数をみても、栃木県は群馬県に次いで全国第2位となっており、宇都宮市及び芳賀町の自動車保有台数は増加傾向にあります。

また、鉄道やバスの利用者数の推移を見ると、鉄道は概ね横ばいであり、バスにおいて減少傾向にありましたが、近年は横ばいで推移しています。

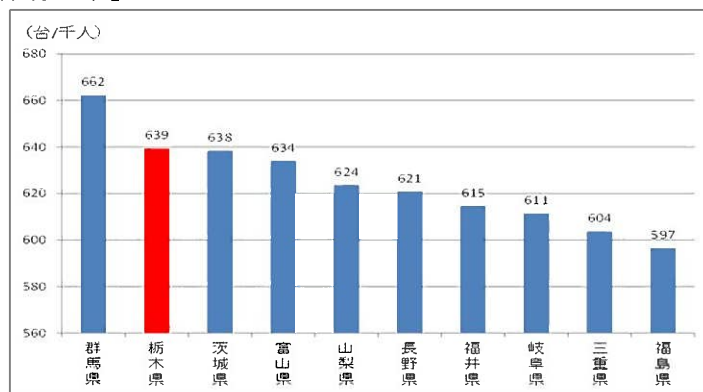
【宇都宮市・芳賀町の代表交通手段構成】



出典：県央広域都市圏生活行動実態調査

図 2-6 宇都宮市・芳賀町の代表交通手段構成の推移（全目的）

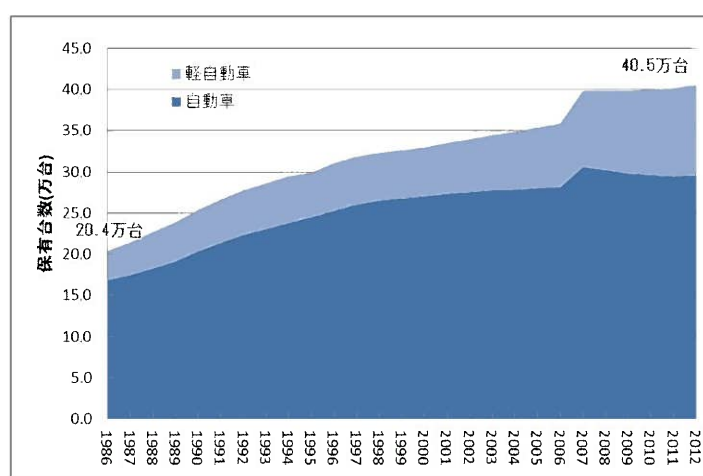
【自動車保有台数】



栃木県の人口当たりの
自家用乗用車数は、
群馬県に次いで
全国第2位

資料：統計でみる都道府県の姿 2014

図 2-7 人口当たり自家用乗用車トップ 10



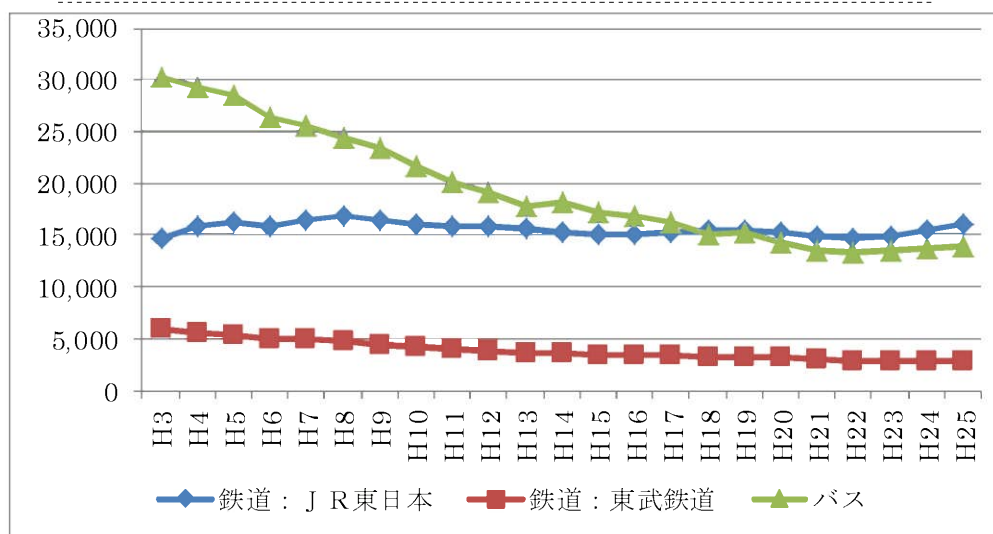
宇都宮市及び芳賀町の
自動車保有台数は
増加傾向

資料：栃木県統計年鑑 ※2006年以前は旧宇都宮市の数値

図 2-8 宇都宮市・芳賀町の自動車保有台数の推移

【鉄道・バスの利用者数】

鉄道の利用者数は概ね横ばいであり、バスの利用者数は減少傾向にあったが、近年は横ばいで推移している



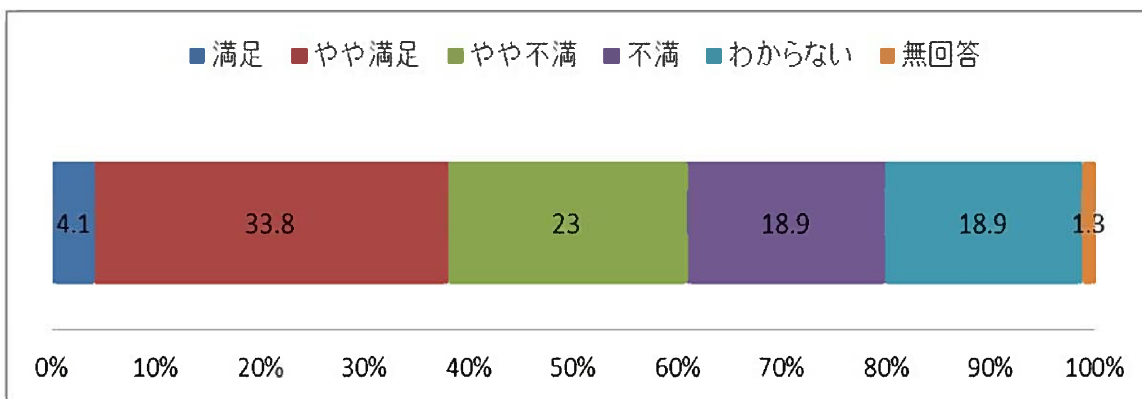
資料：東日本旅客鉄道(株)，東武鉄道(株)，関東自動車(株)，東野交通(株)，ジェイアールバス関東(株)

図 2-9 鉄道・バス年間利用者の推移 (単位：千人)

⑥ 住民満足度

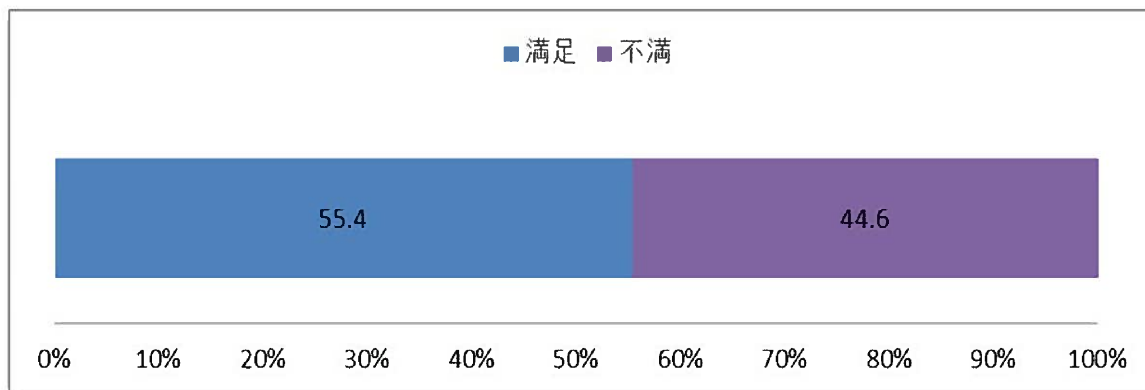
宇都宮市東部地域においては、「公共交通ネットワークの充実」について、「満足」または「やや満足」37.9%と、「不満」「やや不満」の41.9%を下回っています。

芳賀町においては、「公共交通の充実」について「満足」が55.4%と、「不満」の44.6%を上回っています。



資料：平成26年度市民世論調査（宇都宮市）

図 2-10 宇都宮市東部地域における「公共交通ネットワークの充実」にかかる住民満足度



資料：平成25～27年度町民満足度調査（芳賀町）

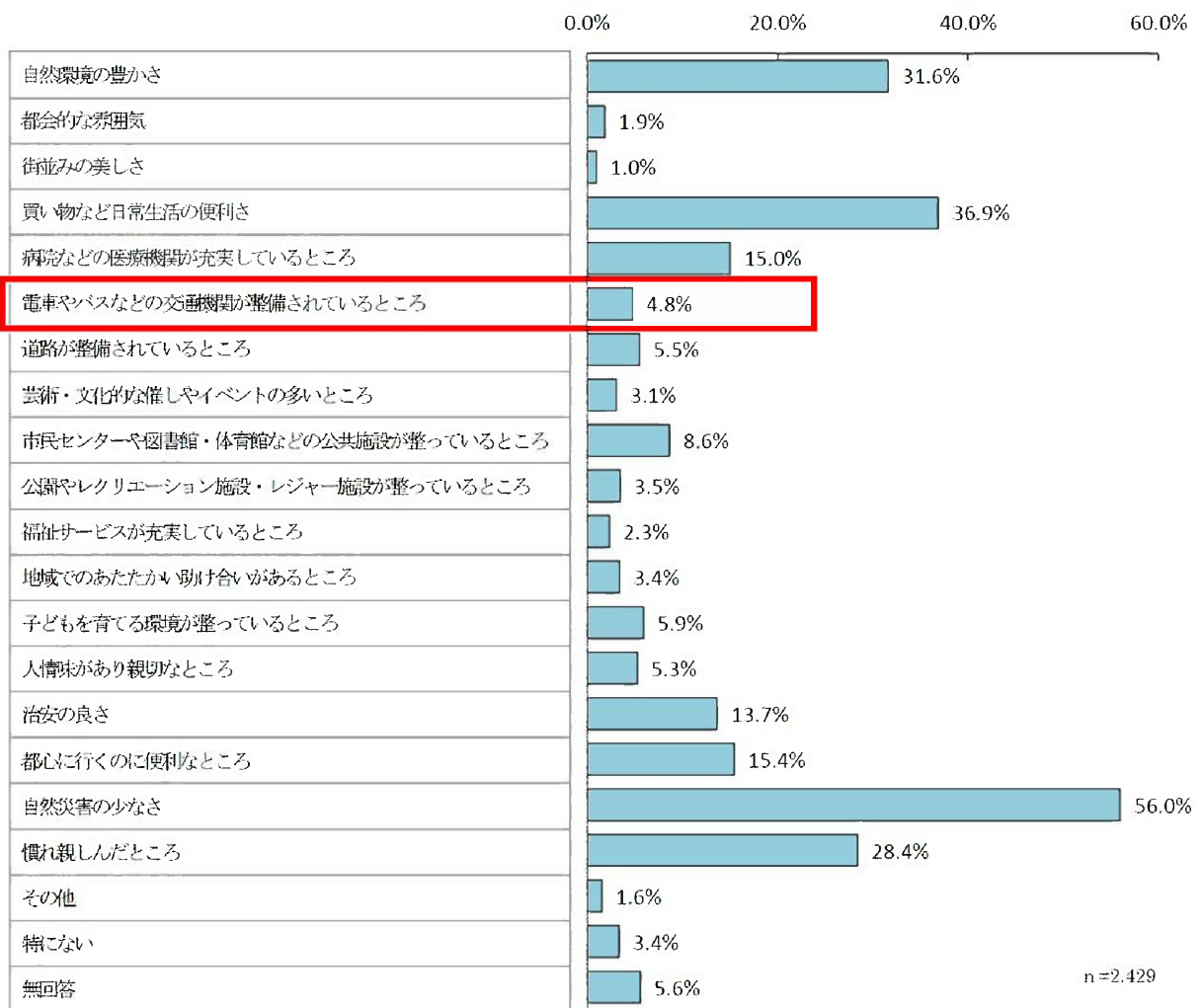
図 2-11 芳賀町における「公共交通の充実」にかかる住民満足度 ※平成25～27年度平均

(参考) 宇都宮市 第47回市政に関する世論調査の結果(平成26年度実施)(抜粋)

[宇都宮市に対する感じ方について]

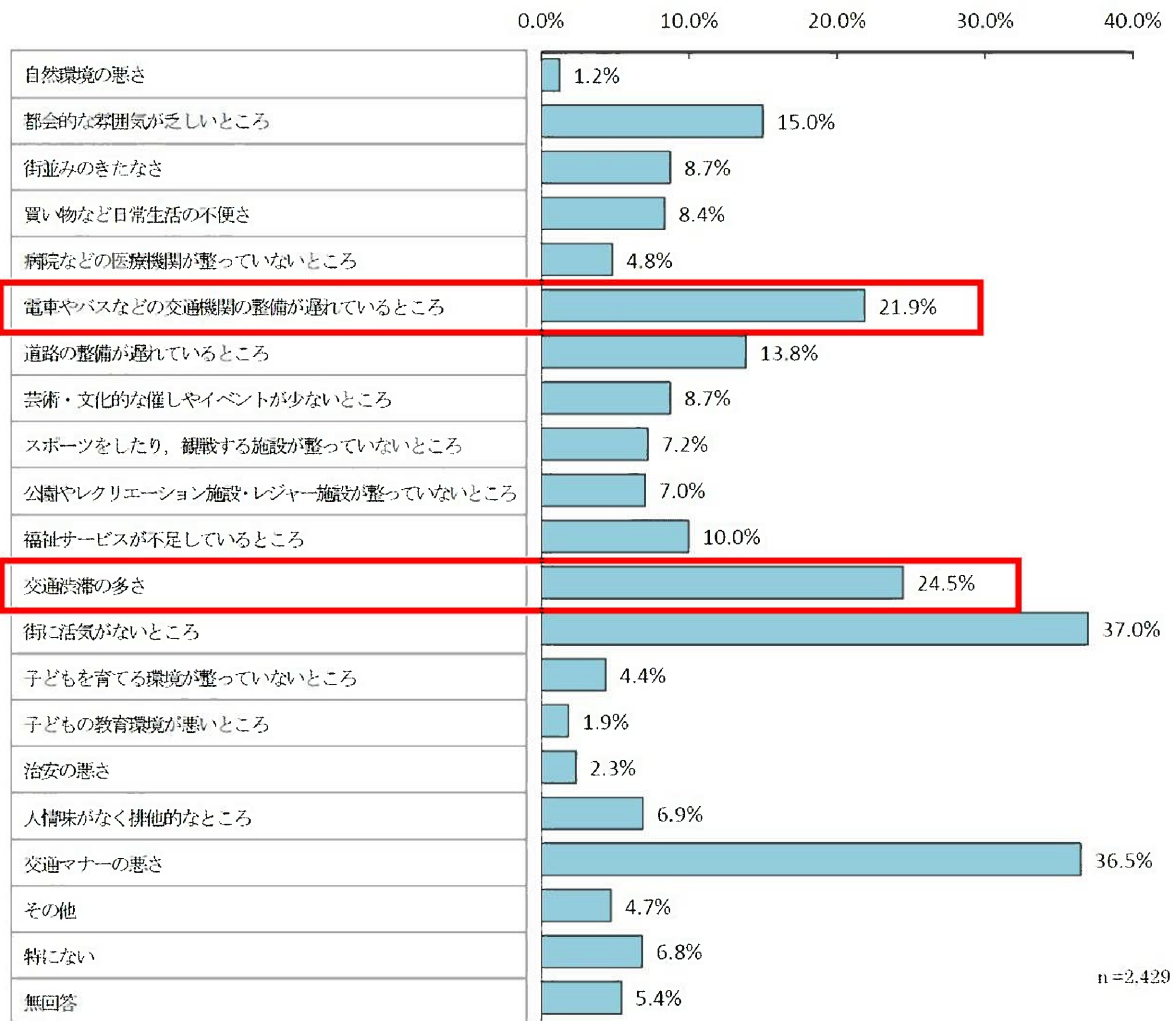
○宇都宮市が好きな理由

宇都宮市で好きだと思ふところについて、1位が「自然災害の少なさ」で56.0%、2位が「買い物など日常生活の便利さ」、3位「自然環境の豊かさ」、4位「慣れ親しんだところ」、5位「都心に行くのに便利なところ」、6位「病院などの医療機関が充実しているところ」という順であった。



○宇都宮市が嫌いな理由

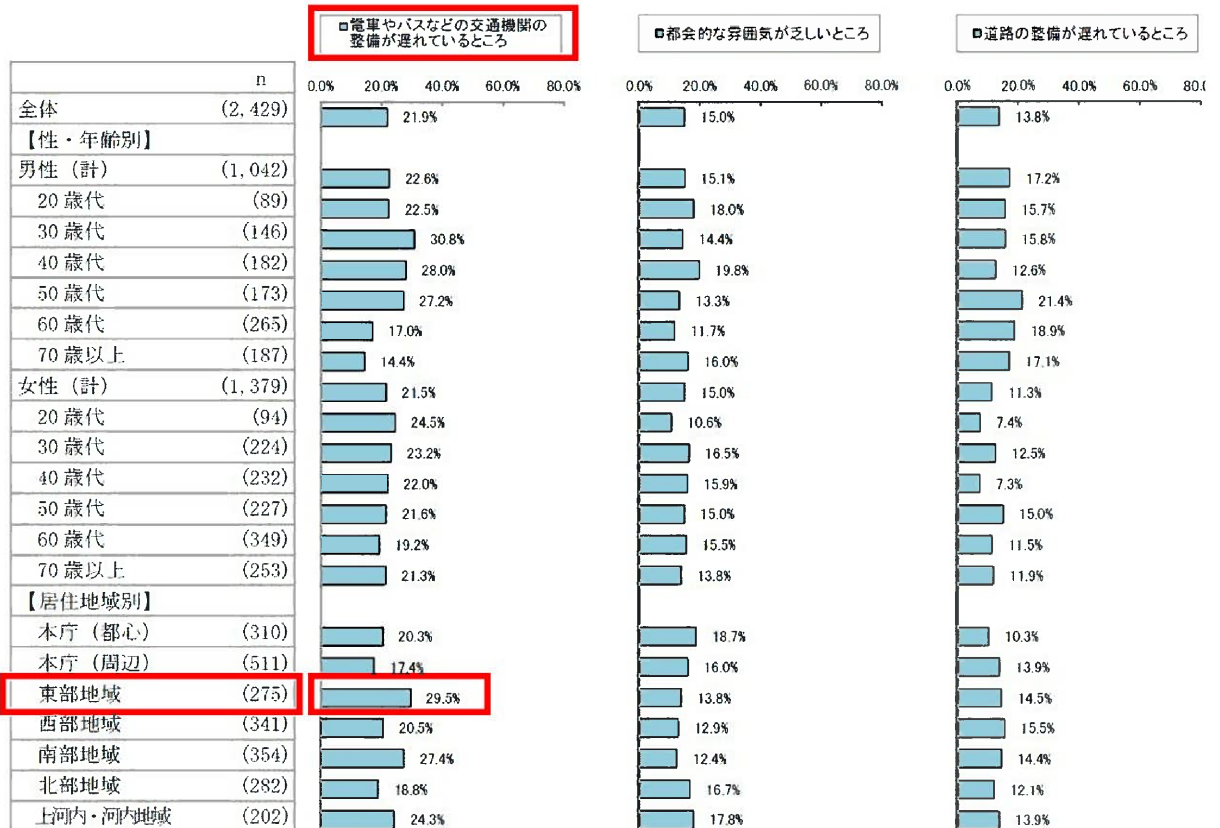
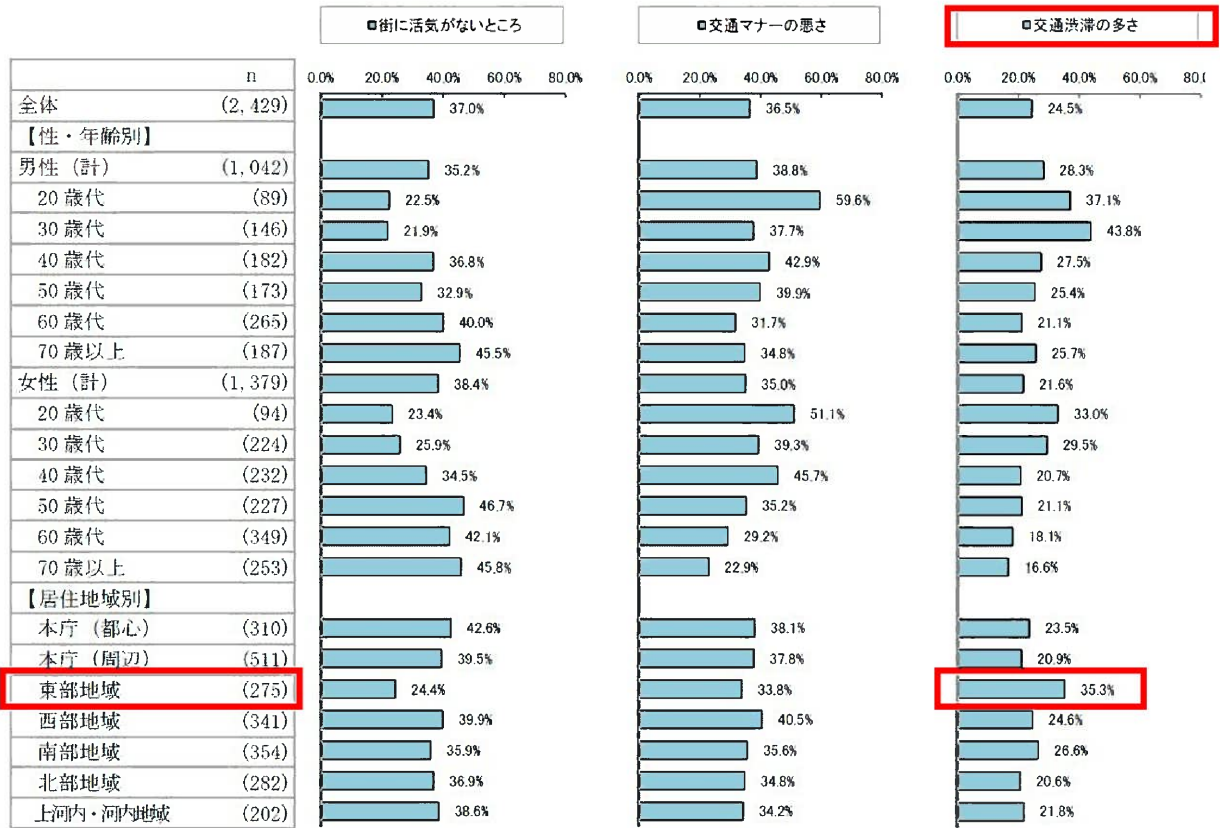
宇都宮市で嫌いだと思うところについては、1位が「街に活気がないところ」で37.0%、2位が「交通マナーの悪さ」で36.5%、3位が「交通渋滞の多さ」で24.5%、4位が「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」で21.9%、5位が「都会的な雰囲気が乏しいところ」で15.0%、6位が「道路の整備が遅れているところ」で13.8%という順であった。



○宇都宮市が嫌いな理由（性別・年代別・地域別）

性・年齢別にみると、「街に活気がないところ」は＜女性/50歳以上＞が46.7%と最も多いが、＜男性/20～30歳代＞と＜女性20～30歳代＞の若年層では20%台であった。「交通マナーの悪さ」は＜男性/20歳代＞が59.6%と最も多く、「交通渋滞の多さ」は＜男性/30歳代＞の43.8%が最も多かった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は＜男性/30歳代＞の30.8%が最も多く、＜男性/60～70歳代＞と＜女性/60歳代＞は10%台であった。居住地域別にみると、「街に活気がないところ」は＜本庁（都心）＞が42.6%と最も多く、「交通マナーの悪さ」は＜西部地域＞が40.5%と最も多く、「交通渋滞の多さ」は＜東部地域＞が35.3%と最も多く、その他の地域は全て20%台であった。「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」は＜東部地域＞が29.5%であった。

【嫌いな理由の性・年齢別/居住地域別割合（上位6項目）】

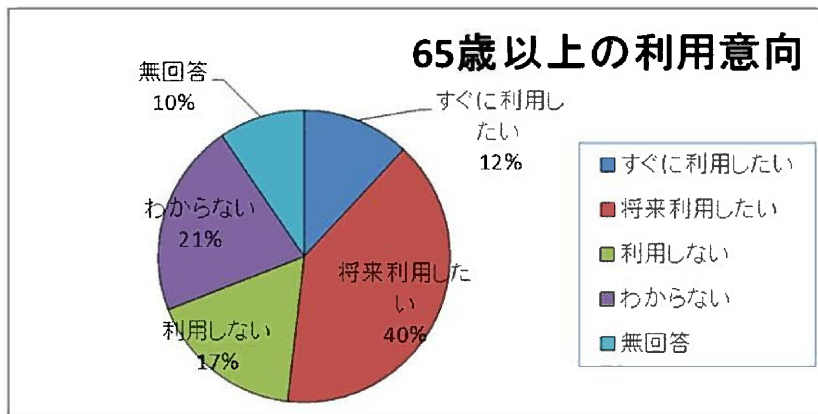


(参考) 地域内交通に関するアンケート (抜粋)

<平石地区> 平成 25 年度実施

○地域内交通に関する利用意向 (65 歳以上)

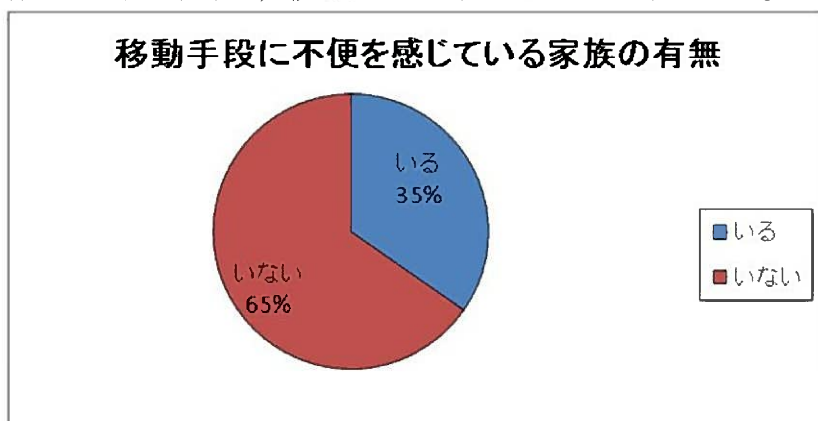
地域内交通の利用意向については、「すぐに利用したい」「将来利用したい」を合わせると、52%となっている。



<清原南部地区> 平成 26 年度実施

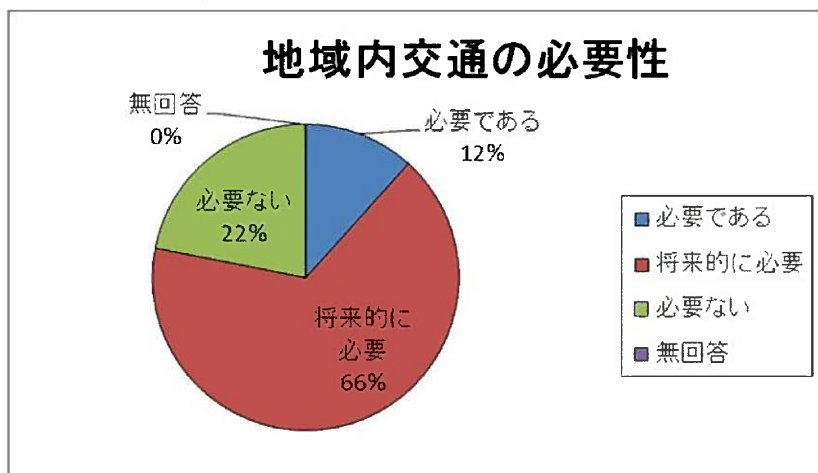
○移動手段に不便を感じている家族の有無

全体の35%の世帯で、移動手段に不便を感じている人がいる。



○地域内交通の必要性

「必要である」「将来的には必要である」を合わせると、約78%の世帯が必要性を感じている。



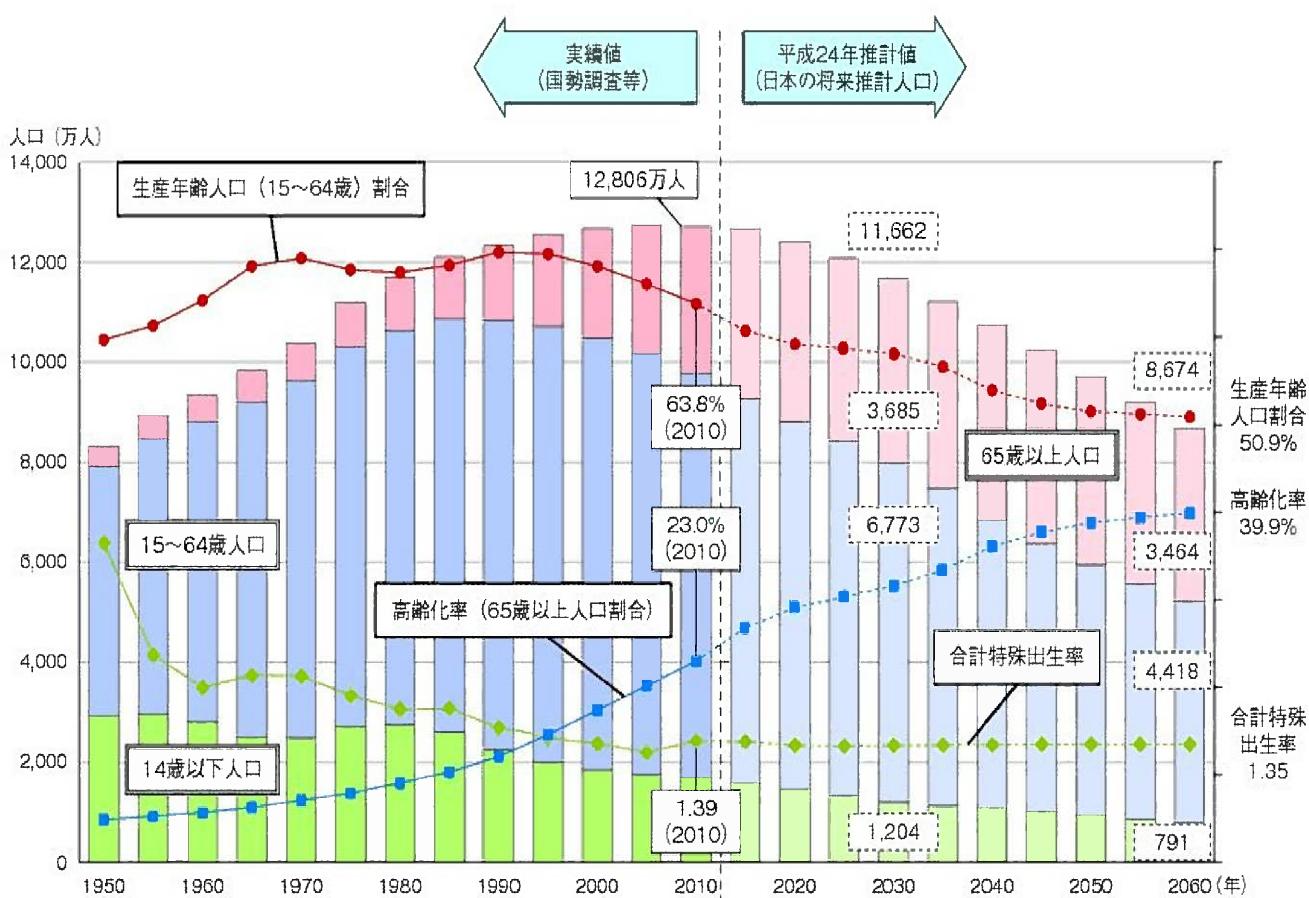
(2) 社会情勢の変化

① 少子・超高齢化、人口減少社会の進展

我が国の人口は少子化及び超高齢化が顕著となってきており、平成 20(2008)年の 1 億 2,808 万人をピークに減少に転じました。

平成 72 (2060) 年には 8,674 万人まで減少し、その内の高齢人口 (65 歳以上) が 3,464 万人と 4 割を占めるものと見込まれています。

宇都宮市においても平成 29 年をピークに人口減少に転じると見込まれ、芳賀町においては平成 2 年から減少傾向が続いており、ともに高齢人口は増加傾向にあります。

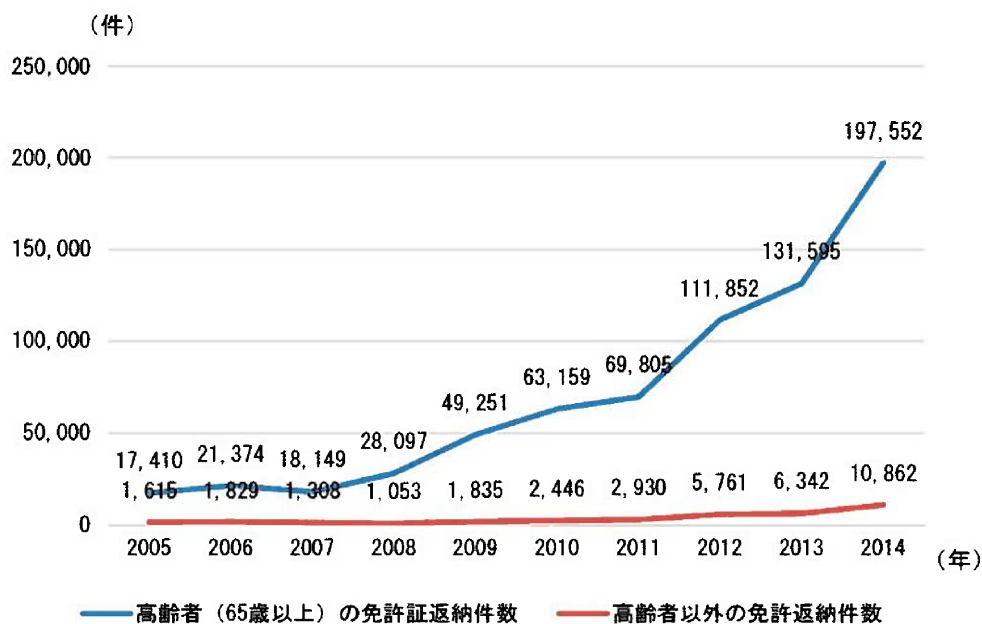


出典：総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 24 年 1 月推計）：出生中位・死亡中位推計」（各年 10 月 1 日現在人口）、厚生労働省「人口動態統計」

図 2-12 日本の人口の推移

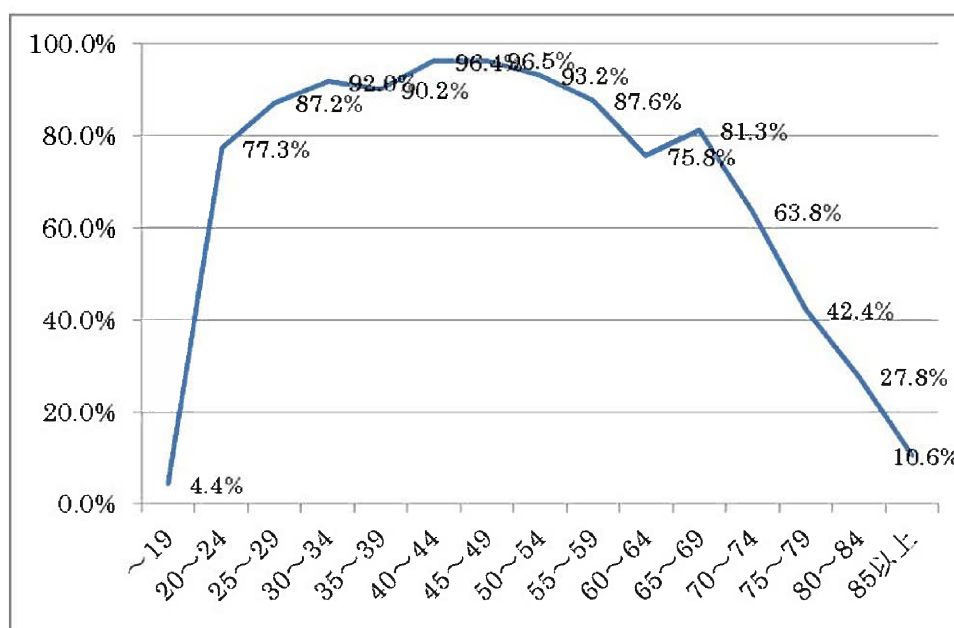
【運転免許証返納件数の増加】

高齢者の運転事故の増加等を背景として、高齢者の運転免許証返納件数は年々増加しています。70歳以降の年代の運転免許証の保有率は、近年高まりつつあるものの、70歳未満の年代と比べると大幅に低くなっていることに加え、道路交通法の改正により認知症対策が強化されたことなどを受けて、免許証返納は今後ますます増加すると予想され、公共交通の役割が高まるものと推測されております。



出典：平成 27 年版交通政策白書

図 2-13 運転免許証返納件数の推移



出典：平成 26 年運転免許統計（警察庁），人口推計（平成 25 年 10 月 1 日現在）（総務省）

図 2-14 運転免許証保有率（年齢別）＜平成 26 年＞

② 地球環境問題の深刻化

温室効果ガスの大量排出による地球温暖化や、大量生産・大量消費による地球資源の枯渇などの問題が深刻化しています。

宇都宮市及び芳賀町の自動車分担率は68.2%であり、運輸部門における温室効果ガス排出量の面で、環境に与える影響は大きくなっています。

③ 公的役割の拡大

モータリゼーションの進展や近年の人口減少、少子高齢化など、公共交通を取り巻く状況は厳しさを増しており、公共交通の縮小やサービス水準の低下が、さらなる公共交通利用者の減少を招いています。

このような状況のもと、公共交通について地域の総合行政を担う地方公共団体が中心となって、地域戦略の一環として持続可能な公共交通ネットワークの形成を進める必要があることから、平成25年に「交通政策基本法」が、平成26年に「改正地域公共交通活性化再生法」が施行されました。

宇都宮市や芳賀町においても、国・県と連携しながらバス路線に対する支援やデマンド交通の導入など公共交通の維持・拡充に取り組んできましたが、新たな枠組みの下、まちづくりの観点から公共交通の活性化・再生を図ることが求められており、行政の果たすべき役割が拡大しています。